



みんなの回生

題字揮毫
元県知事・前川忠夫



- 漢方専門外来について 2~3
- 花粉症・通年性アレルギー性鼻炎の治療について (最近の話題) ... 4~5
- その肩の痛み、本当に五十肩ですか? 6~7
- はじめまして・初期研修を終えて 8
- セルフチェック健診を受けてみませんか 9
- メディカル・コンシェルジュより 来院された皆様からのご質問やご要望...10
- 平成30年度 大規模地震時医療活動訓練参加について (院内訓練報告) ...11
- さかいで大橋まつり12

回生病院理念

皆さまに愛され信頼される病院を目指します

回生病院基本方針

- 一、私たちは質の高い医療を提供します
- 一、私たちは保健・医療・福祉と連携を図ります
- 一、私たちは予防医療の充実に努めます

患者さまの権利と責務

- 一、患者さまには、最善で公平な医療を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療内容について十分な説明と情報を受ける権利があります
- 一、患者さまには、医療行為について選択・同意・拒否する権利があります
- 一、患者さまには、個人情報を保護される権利があります
- 一、患者さまには、自らの健康に関する情報を提供する責務があります
- 一、患者さまには、病院の規則を守る責務があります

2018年
288号

秋号 

社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
坂出市室町三丁目5番28号
回生病院ホームページ <http://www.kaisei.or.jp/>

☎0877 (46) 1011 (代)
夜間の受付も行っています。

漢方専門外来について

漢方専門外来 竹川 佳宏

『がん治療に次の一手：それは漢方』

我々の体はおよそ 60 兆個の細胞から構成されています。常にいろいろなリスク要因によって遺伝子に異常（変異）が起こっています。遺伝子異常を引き起こす生活要因として、よく知られているものでは喫煙や飲酒等があります。これらに遺伝的危険因子が組み合わさった時に多くのDNAに損傷が起こり、その結果「肺がん」や「食道がん」等の「がん」になる頻度が高くなります。このように「がん」も遺伝子異常によって生じる病気なのです。

他方これらがん細胞を攻撃し殺す、リンパ球が体内で存在しています。体の免疫力が弱っている状態ではがん細胞は生き残り増殖します。すなわち弱った免疫機能では対処できなくなり、がん細胞は急激に増加してがんは増大していきます。直径が 10cm くらいのがんになると数 1000 億個から 1 兆個のがん細胞が集まっています。

そのためがんは早期発見、早期治療が必要となります。治療法は主に「外科治療」、「放射線治療」、「化学療法」に最近では第 4 番目の治療法として「免疫療法」が世界的に注目されています。免疫療法とは、がん患者さんの弱った免疫システムに直接働きかけて、リンパ球を活性化させ、がん細胞を殺させる治療法です。今後は、がん患者さんのすべての遺伝子を解析するために人工知能という技術が必要となります。求められた膨大な遺伝子情報の中から、更に人工知能に個々のがん患者さん（個別化）にヒットした薬を見つけ出させた結果、治療効果も上がり副作用も少ない新しい薬が開発されます。ただしこの治療を実現させるには何百億の予算と何年もの歳月が必要となります。国を挙げての事業となりますが、政府はなかなか腰を上げません。我々国民主導で腰の重い政府を動かさないと、がん治療はなかなか進展しないでしょう。このままでは日本は世界から取り残されてしまいます。

しかし幸いにも、我が国には身近に免疫※治療（個別化医療）が埋もれています。それは数千年の時間を経て生き残ってきた人類の叡智である「漢方」です。この漢方をうまく使いこなすには多少の知識と経験が必要となります。がん治療の経験が豊富な専門医であり、そのうえに漢方の専門医でもある医者なら漢方の叡智を引き出すことができます。残念なことにどちらかに偏った医療しか出来ていない施設が多いのですが、最近両治療に長けたがん専門医の居る病院が少しずつ増えてきています。

がん患者さん特有の不定愁訴やがん治療に伴う様々な副作用を解決できるのも「漢方」です。更に漢方を続けていくと免疫バランスが好転して延命効果も期待できます。

がんと診断され不安で悩んでいる患者さん、がん治療の開始と共にその副作用で苦しんでいる患者さん、転移・再発を毎日心配しながら生活しておられる患者さん、仕方なくサプリメントに高額のお金を投資している患者さんは多くおられると思います。ぜひ一度ご相談に訪れてください。何よりも患者さんの偏見をなくし、正しい知識を培っていただけます。

回生病院では野萱純子先生が 2009 年に開設された「女性漢方外来」に加えて、2018 年 8 月よりがんをはじめ幅の広い医療に対処出来る本格的な「漢方専門外来」を開設いたしました。一度回生病院にお越しください。



※免疫を促進させる代表的方剤「四君子湯」を構成する生薬

【漢方専門外来】

場 所：外来棟 2 階 女性漢方外来

診療時間：毎週水曜日・木曜日、午前 9：00～11：30

チョウセンニンジン

朝鮮半島、中国東北部に分布する多年草で、日本では長野県、福島県、島根県などで栽培されています。薬用部位の根は肥大して分岐し、5～6年栽培したものを用います。不老長寿の薬として古来より珍重され、補精、強壮、鎮静、抗糖尿病などの作用があります。



ビャクジュツ

日本および朝鮮半島に分布する多年草です。生薬「ビャクジュツ」は本種の根茎で、健胃、整腸、利尿、止汗などの作用があります。同様の効果を期待して使われるソウジュツ（蒼朮）を用いてもよいとされています。



ブクリョウ

アカマツやクロマツなどのマツ属植物の根に主に寄生する真菌で、大きい菌核になると直径30cmにもなります。主に中国東南部にて栽培され、日本にも自生しています。生薬「ブクリョウ」は本種の菌核で、利尿、健胃、鎮静などの作用があります。



ウラルカンゾウ

中国からヨーロッパ南部に分布する多年草で、去痰、鎮咳、消化性潰瘍薬などの作用があります。中国、モンゴル、アフガニスタンなどから年間数千トン以上が輸入されています。



ショウキョウ

熱帯アジアに分布する多年草で、生薬「ショウキョウ」は本種の根茎で、健胃などの作用があります。日本でいう「ショウキョウ（生姜）」は中国の「カンキョウ（乾姜）」を指すので注意が必要です。



タイソウ

ヨーロッパ南部、アジア西南部に分布する落葉小高木で、日本には中国から渡来し、各地で広く栽培されるようになりました。和名のナツメ（夏芽）は、その芽立ちがおそく、初夏に入ってようやく芽を出す特性を指しています。抗補体作用が報告されています。



花粉症・通年性アレルギー性鼻炎の治療について(最近の話題)

耳鼻咽喉科部長 澤井 尚樹

アレルギー性鼻炎とは、原因となる物質（アレルゲン）を吸入することで、くしゃみ・鼻水・鼻づまりを起こす病気です。そのうち、季節性アレルギー性鼻炎は、原因となる物質が花粉であることが多く、花粉症とも呼ばれます。日本では、春先のスギ花粉症が有名です。また、1年中症状のあるタイプを通年性アレルギー性鼻炎と呼び、主にダニやハウスダストが原因です。今回は、スギ花粉症と通年性アレルギー性鼻炎について、生活での注意から最新の治療法までをご紹介します。

1. 原因物質（アレルゲン）を避ける

症状の悪化を防ぐためには、スギ花粉やダニなどの原因物質（アレルゲン）をできるだけ避けることが重要です。スギ花粉とダニ、それぞれの対処法を図1、図2に紹介します。



スギ花粉（2～4月）



図1：スギ花粉症への対策



ダニ（1年中）

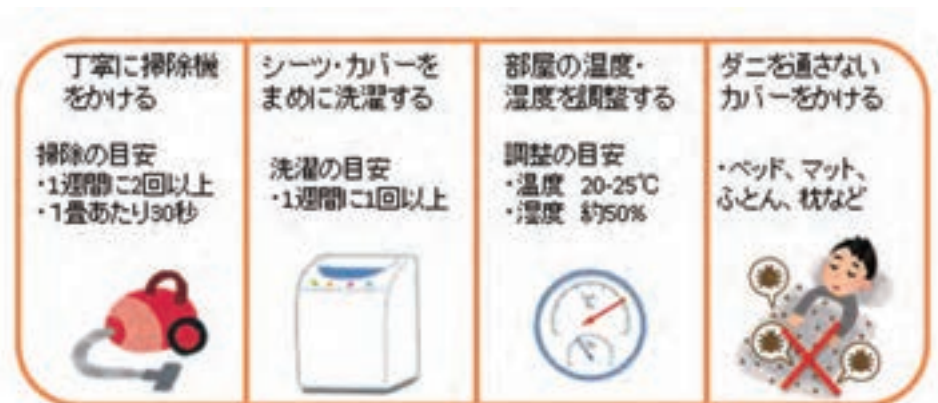


図2：ダニへの対策

2. お薬（内服薬と点鼻薬）

内服薬の中では、「抗ヒスタミン薬」と呼ばれるものが最も使われています。効果が出るまでの時間が短いこと、副作用が少ないことなどが特徴です。最近では、眠気の出にくいお薬も人気があります。

また、点鼻薬と呼ばれる鼻に噴霧するタイプのお薬も、よく使われます。こちらも即効性があり、全身的な副作用が少なく、特に鼻づまりに効果が期待できます。

症状の強さや生活スタイルなどを検討し、お薬を選択します。

3. 手術（粘膜下下鼻甲介骨切除術、後鼻神経切断術）

原因物質（アレルゲン）を避けお薬を使用しても、症状が十分改善しない患者様が対象になります。いくつかの方法がありますが、当科では内視鏡を使用する、「粘膜下下鼻甲介骨切除術（図3）」と「後鼻神経切断術（図4）」を行っています。鼻水、鼻づまりに効果があります。

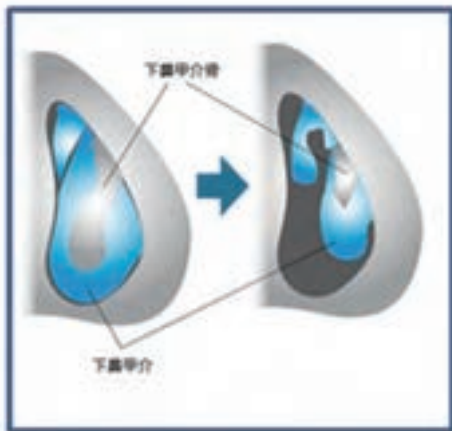


図3：粘膜下下鼻甲介骨切除術

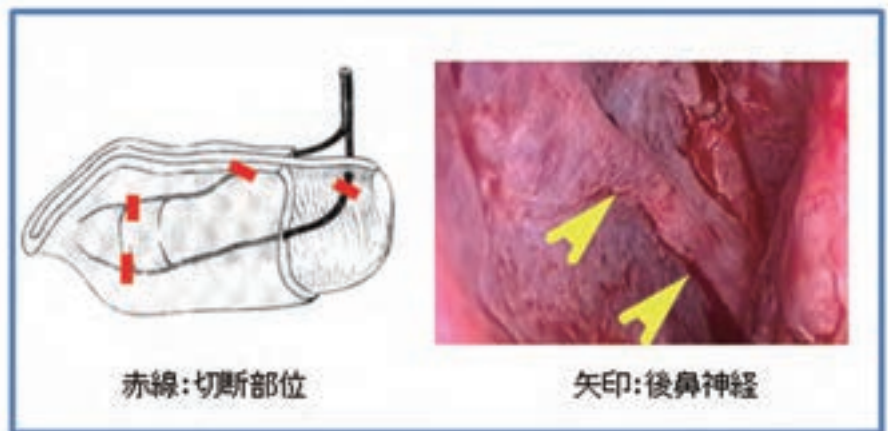


図4：後鼻神経切断術

4. 舌下免疫治療

減感作療法とも呼ばれ、原因物質（アレルゲン）を少量から投与することで、体を慣らし、アレルギー症状を和らげる治療法です。日本では、2014年にスギ花粉症に対する舌下液、2015年にダニアレルギー性鼻炎に対する舌下錠が市販されました。治療期間が長期であること、即効性はないことなど、従来の治療とは異なる特徴もありますが、症状の改善、QOLの改善が見込まれ、近年注目されています。初回のみ病院で内服し、以後は自宅で内服します。



図5：舌下免疫治療の内服例。スギ舌下液「シダトレン」の場合。

5. まとめ

それぞれの治療法には、長所と短所があり、年齢や持病によっては対象とならない患者様もいます。興味のある方は、外来にてお気軽にご相談ください。

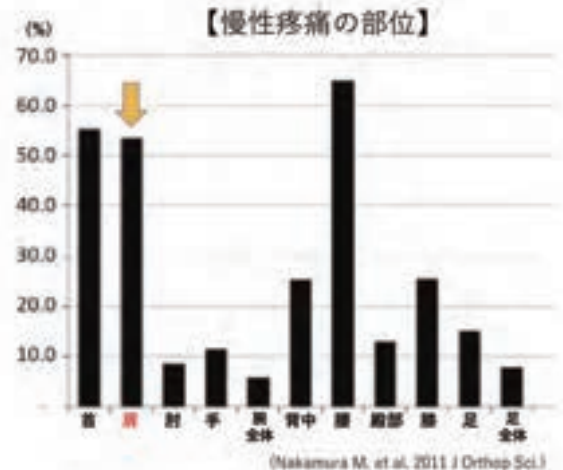
その肩の痛み、本当に五十肩ですか？

回生病院 関節外科センター課長 大西 和友

1. 肩の痛みで悩んでいる人は多い

3ヶ月以上続く痛みを慢性疼痛と呼びます。

右のグラフは日本人の慢性疼痛部位を大規模調査した結果です。調査結果によると、肩の痛みで悩んでいる人は腰や首の次に多く、膝の痛みで悩んでいる人よりも多いことがわかりました。しかし、実際に病院を受診している患者さんの数は、肩の痛みで来られる患者さんの数よりも腰や膝の痛みで来院される患者さんの方が圧倒的に多いのが現状です。



2. 明らかな原因がなく発症した肩の痛み・・・五十肩？



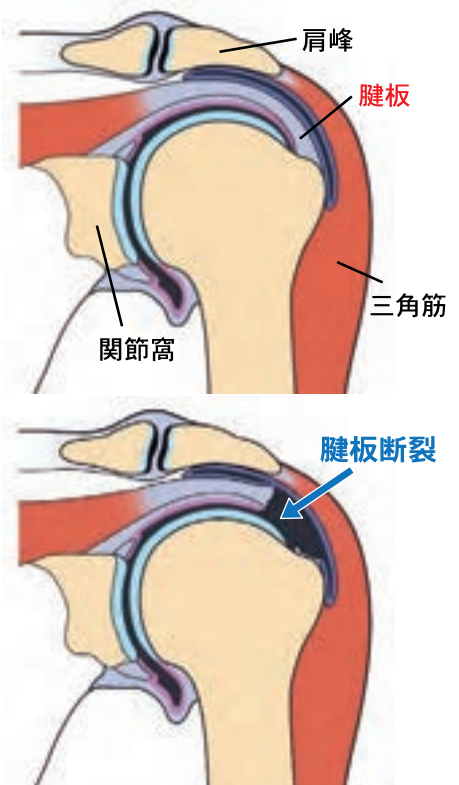
肩には古くから「五十肩」という言葉があります。実は、五十肩という言葉の起源はレントゲン検査もなかった江戸時代にさかのぼります。このような古い言葉が現在に至っても世間一般、さらには医療現場でも広く使われているのです。一般的には、怪我などのきっかけがなく発症した肩の痛みでレントゲン検査で異常がないものを「五十肩」と呼ぶことが多いのですが、五十肩には明確な定義や診断基準があるわけではありません。

3. 怪我をしていないのに断裂？ 意外に多い腱板断裂

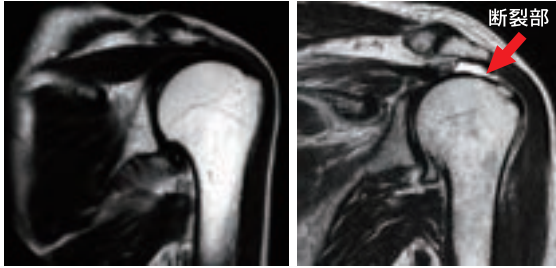
肩を動かす筋肉は、表層にある三角筋と深層にある腱板に大別されます。腱板とは、腕の骨（上腕骨）と肩甲骨をつなぐ板状の腱であり、前方にある肩甲下筋、上方にある棘上筋、後方にある棘下筋、小円筋の4つの筋肉から構成されます。その働きは、「肩をひねる」という筋力に加え、関節がずれないように「肩を安定させる」という重要なものがあります。

肩の痛みの代表的な原因の1つに腱板断裂があります。通常、腱の断裂といえば転倒などの怪我をきっかけに生じるイメージがありますが、肩の腱板に限っては、気がつかないうちに断裂していることも珍しくありません。近年の報告によると、70歳以上の約半数（無症状の人も含めます）に腱板断裂が生じているとの報告もあります。

したがって、「五十肩」と自己判断または病院で診断されたにも関わらず、いっこうに痛みが良くならない方のなかには、「腱板断裂」が隠れているかもしれません。

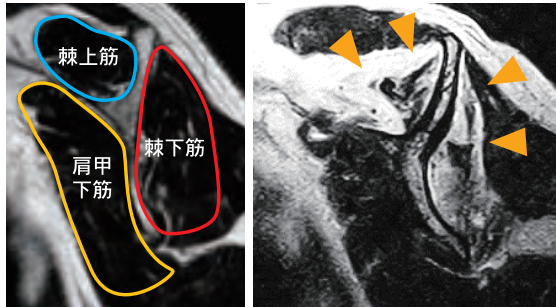


4. 腱板断裂の診断と治療



〈正常：断裂なし〉

〈腱板断裂あり〉



〈正常：筋萎縮なし〉

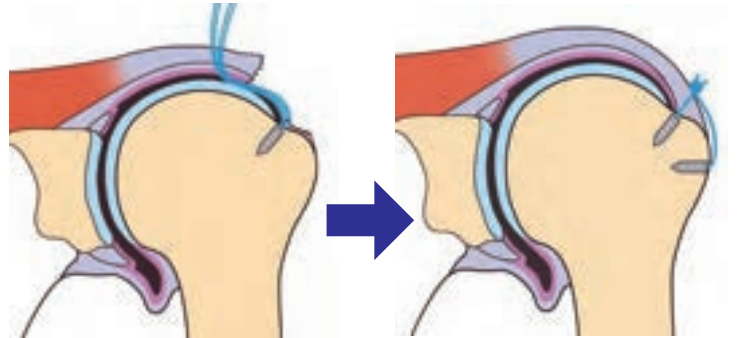
〈高度な筋萎縮あり〉

腱板断裂はレントゲン検査で診断することはできません。しかし、詳細に診察することによりほとんどの場合、五十肩と見分けることができます。診察で腱板断裂が疑われた場合は、MRI検査を行います。当院では高性能のMRIを用いて腱板断裂の有無を評価しております。さらに、断裂の大きさだけでなく、断裂した筋肉の萎縮の状態も確認しております。

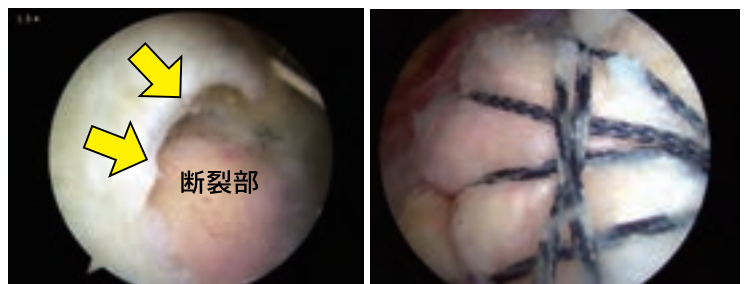
腱板断裂があるからといって、すべての人に手術が必要になるわけではありません。年齢や活動性、断裂の大きさ、筋萎縮の程度を考慮して、適切な治療方針を選択します。まず、リハビリを中心とした保存治療を行うことが多いですが、保存治療を行っても症状が改善しない場合は手術が必要になることがあります。

5. 手術はどのように行っているの？

当院での手術は、すべて関節鏡（内視鏡）で行っています。関節鏡手術は、皮膚を大きく切開して行う手術よりも傷が小さいだけでなく、表層の筋肉（三角筋）を傷つけないので回復が早いです。さらに、合併した損傷も見逃さずに、適切な処置を追加することもできます。



修復法は、アンカーと呼ばれる糸が装着された直径5mm前後のビス（非金属製）を骨に打ち込んで、右図のように断裂した腱板を修復します。手術時間は断裂の大きさや合併損傷の有無により異なりますが、1～3時間程度です。当院では、最新の手法で強固に修復することを心掛けており、術後の装具による固定期間は他の施設より短い4週間としております。



〈関節鏡写真：修復前〉

〈関節鏡写真：修復後〉

6. さいごに

肩関節は、腕を筋肉だけで体幹につないだ特殊な構造をした関節です。画像検査で異常がなくても痛みが出ることも多いため、たとえ整形外科医であっても肩の痛みに対する診断や治療を苦手としている医師が多いのが現状です。手前味噌で恐縮ですが、小生は中高年からトップアスリートに対する肩関節の最先端の治療を国内外で数多く学び、本年4月から回生病院で勤務しております。腱板断裂に限らず、肩でお困りの方はどうぞお気軽に相談にいらしてください。

はじめまして

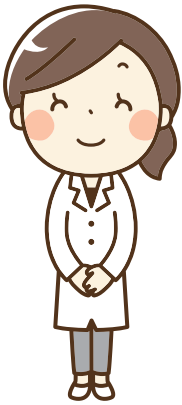


外科課長
塩田 規帆

皆さん、初めまして、というところですが、私は平成二十七年の四月から約十か月間、こちらで外科医として働かせていただきました。この度、愛知県の藤田保健衛生大学病院から再び異動となりました。医学部卒業後十五年になりますが、大学病院での勤務の他に北関東の栃木県足利赤十字病院での勤務や、愛知県のいくつかのクリニックで外来や胃力メラ・大腸力メラなどの業務も行っておりました。

専門分野は消化器外科で、特に大腸・直腸および肛門の診療・手術・化学療法・内視鏡検査などを専門に行っております。男女関わらず肛門や、いわゆる”シモ“のお話は相談しにくいものと思いますが、お話を簡単な処置だけで解決する場合も多くあります。よろしければお気軽に外科外来にご相談ください。

愛知県の病院から何故坂出へ、とお思いの方もいらっしゃると思いますが、私は出身が多度津町で、高校までは西讃で過ごしました。今回地元に戻ってきたことで坂出市はもちろんのこと周辺市町村の医療に貢献していきたいと思っております。今後ともなにとぞよろしくお願いたします。



初期研修を終えて



救急科
上乃 誠

初期研修に当院を選んだ理由は、いくつかありましたが、中でも救急医療体制が充実しており、救急車対応や初診外来を学ぶ機会が充実していること、各科の敷居が低くコンサルトを気軽にできることが大きな理由でした。

初期研修の2年間は知識と技術の習得、勉強会や学会など様々な勉強の機会いただき、あっという間に過ぎていったように感じますが、入職時に考えていた初期研修医像、将来の医師像を常に意識しながら自主学習の習慣を身につけられたことで、各科の先生方からご指導、経験も一つ一つ「意味のある消化」になったと実感しています。

この2年間で様々な科をローテートしながら、チーム医療の重要性を肌で実感し、地域中核病院でのプライマリ・ケアのニーズとその中での救急対応、初期対応を深く学びたいと感じ、引き続き当院の救急科で後期研修医としてお世話になることを決めました。外科系・内科系、軽症から重症まで様々な疾患に独力で診断・治療し、必要に応じて適切な専門医にコンサルトできる能力や判断力を身につけていくことが現在の目標です。

このようなモチベーションを高く保てる環境で、様々な信頼できる指導医に教えていただける環境に感謝しながら、いち早く患者さんの根本治療に役立ち、信頼してもらえる医師になりたいと思います。

セルフチェック健診を受けてみませんか

総合健診センター

皆さん最近、テレビで芸能人による人間ドックや健康に関する番組をよくみかけませんか。健康診断の必要性などが取り上げられる機会が多くなり、ご自身の健康に不安を感じる方も多いと思います。しかし、なかなか健康診断を受ける機会や時間がないのではないのでしょうか？

当院総合健診センターでは、手軽に受けられるセルフチェック健診を行っております。

このような方にお勧めです。

- ・ 忙しくてなかなか病院に行く時間のない方
- ・ 健康診断で気になる項目をもう一度検査したい方
- ・ 生活習慣を改善した後の成果をみたい方

<検査のご紹介>

① **コレステロールが気になる方：外食が多い・脂っこいものが好き・家族に脂質異常の方がいて自分も気になっている方にお勧めです。**

項目：総コレステロール・中性脂肪・善玉コレステロール・悪玉コレステロール

② **肝臓の機能が気になる方：アルコールを飲む方・食生活が乱れている方にお勧めです。**

項目：AST(GOT)、ALT(GPT)、 γ -GTP

③ **血糖値が気になる方：甘いものが好き・家族に糖尿病の方がいて自分も気になっている方にお勧めです。**

項目：血糖・ヘモグロビン A1c

④ **貧血が気になる方：女性は、貧血になりやすいと言われています。この機会に調べてみてはいかがでしょうか？**

項目：血清鉄、赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット



当院のセルフチェック健診は、採血のみの健診です。

所要時間は受付時間などを含め約 10 分です。検査当日は、絶食でお越し下さい。

採血結果は、一週間以内に郵送にて報告返却させていただきます。ご希望の方は、当日、保健師・看護師から結果説明や生活指導をさせていただきます。

予約受付・ご相談は、総合健診センター 0877-46-1448 にご連絡ください。

人間ドック・住民健診・特定健康診査・特定保健指導等各種健康診断のご予約も承っております。

メディカル・コンシェルジュより 来院された皆様からのご質問やご要望

病院正面玄関におりますメディカル・コンシェルジュは、患者さまやご家族など、訪れる方お一人お一人が安心して回生病院をご利用いただけるよう、ご案内やサポートをさせていただいております。今回は皆様からのご質問やご要望などをいくつかご紹介させていただきます。



自家用車から車椅子への移乗を手伝ってほしい。

車椅子への移乗、受付の代行、院内の移動などを**ご家族に代わってサポート**させていただきます。**お一人での受診がご心配な方も**ぜひお声掛けください。

受付の方法がわからない。 会計の時は、機械で精算したくない。

受付の手順や、外来の場所などもコンシェルジュがご案内させていただきます。また、会計は自動精算機ではなく、**窓口でお支払いいただくことも可能**ですのご安心ください。



バスの時間や駅までの道順を知りたい。

バスや電車の時刻表や周辺地域の地図、他病院の情報など資料をご用意しております。その他、不明なことがございましたらお調べさせていただきます。

薬の処方箋をFAXしてほしい。

かかりつけ薬局をお教えいただければ、FAXさせていただきます。**薬局での待ち時間短縮**になりますので、ぜひお声掛けください。



正面玄関に飾ってある花を楽しみにみえています。

ありがとうございます。市内のお花屋さんにも毎週飾っていただいております。花の名前も紹介していますのでぜひご覧ください。

その他、ご質問やご意見などが
ございましたら
正面玄関周辺であります
コンシェルジュへお声掛け下さい。



平成30年度 大規模地震時医療活動訓練参加について (院内訓練報告)

DMAT 委員会

このたび、平成30年8月3日(金)～4日(土)に開催されました大規模地震時医療活動訓練に、当院DMAT(18名)が参加しました。今回は、8月3日AM11:00に南海トラフ地震が発生して、当県、徳島県、愛媛県、高知県、大分県及び宮崎県に甚大な被害が発生したと想定して、訓練が開始されました。

当院からは、香川県庁に設置される香川県DMAT調整本部に1チーム、高松空港に設置される臨時医療施設(高松空港SCU)に1チーム、病院内災害対策本部支援に1チームの計3チームが参加し、各場所に本部を立ち上げて運営する業務を行いました。

院内においても、地域病院の被災状況収集訓練と来院患者受入訓練を重点的に実施しました。



写真：広域災害救急医療情報システムにて病院被災状況確認



写真：受入患者の傷病者一覧リストを作成

さかいで大橋まつり 2018.8.4(土)

